

11月12日 Reflection2

今回は Carl さんのファシリテートによって議論が進められました。まずは前回までのグループ別議論を整理し、事前視聴したビデオの内容について 3 人の研修員からプレゼンテーションおよびディスカッションを行ないました。

ブルキナファソの研修員から、前日配布された資料「Reimagining our future(未来の創造)」を用いて COVID-19 を筆頭として教育が直面する問題などの振り返りが行われました。ここで吉田先生から、資料を参照して教育課題を解決する必要性について「多様な国からの視点を統合し、現時点で直面する課題を解決しなければ、未来は想像できない」と述べられました。

吉田先生のコメントを踏まえ Martha 研修員から、COVID-19 によって顕在化した ICT 教育格差についての意見が提示されました。エジプトでは 90%の子供がスマートフォンを持っているものの、ある国では地方に住む 80~85%の子供がインターネット環境に接続する手段を持たない現状に驚愕したと振り返ります。Jameel 研修員からはパキスタンの現状が報告されました。2020年3月から3~4ヶ月ほど経ってオンラインクラスが実施されましたが、やはり農村部や辺鄙な地域でオンライン端末を持たない子供の問題が指摘されました。さらに昇級試験なしで生徒が進級できるような措置に対し、学習成果の懸念が提起されました。

次に研修員によるプレゼンテーションが行われました。Nazish 研修員は、日本における教育開発の歴史的背景や現状について、岡山県における ESD 推進の取り組みなどに触れながら学びの報告を行ないました。Lydia 研修員のプレゼンでは、EFA や 2030 アジェンダなどの教育をめぐる国際的潮流を踏まえ、困難な状況の子供達の排除、ドロップアウトやロックダウンに対処する教員の疲弊など、各国に横たわる課題が共有されました。

